

「次のいのちを守る」社会公共政策立案論開催案内

会場:大阪大学中之島センター6階D室(10/19のみ7階D室)

大阪大学医学・工学研究科東京ブランチ 912室

死因から次のいのちを守る社会公共政策を提案できるようになるために、講義を通して、基礎的な次のいのちを守る社会公共政策の考え方を学びます。

本科目は、受講生が自分の考えをまとめて発表する参加型の講義です。受講される方に課題及び解決策を考えて頂き、最終回(第8回)の講義で発表し、議論することで学びを深めて頂きます。興味のある講義のみを選択して聴講することも可能です。

＜事前申し込み＞

大学院の講義ですが、公開講座として一般の方も無料で受講できます。

参加希望の方は、下記 URL よりお申し込みください。

申し込み URL: <https://forms.office.com/r/2sDCFpVWfS>



講義スケジュール

	日時	テーマ	講師
第1回	10月19日(日) 9:00-10:30	オリエンテーション、 iDeaC の取組、 発表テーマの検討	松本 博志 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC センター長・教授 當山紀子 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC 特任准教授
第2回	10月19日(日) 10:40-12:10	死因究明政策	佐々木 健 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC 特任教授
第3回	11月9日(日) 9:00-10:30	自殺対策	北川 晋一 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC 特任助教
第4回	11月9日(日) 10:40-12:10	高齢者保健福祉政策	古元 重和 北海道大学大学院医学研究院 医療政策評価学教室 教授
第5回	12月7日(日) 9:00-10:30	感染症対策	中島 一敏 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 教授
第6回	12月7日(日) 10:40-12:10	地域医療政策	猪飼 宏 京都府立医科大学附属病院医療情報部 部長/准教授
第7回	1月31日(土) 14:40-16:10	グローバルヘルス政策	國井 修 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 CEO・専務理事
第8回	2月7日(土) 9:00-10:30	「次のいのちを守る」 社会公共政策の立案、 受講生の発表	松本 博志 當山 紀子

[お問い合わせ]

大阪大学大学院医学系研究科 次のいのちを守る人材育成教育研究センター

office@ideac.med.osaka-u.ac.jp (※@(全角)を@(半角)に変更してください)

<https://ideacosaka.wixsite.com/ideac>



講師リスト(講義順)

	氏名・所属	略歴
	<p>松本 博志 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC センター長・教授</p>	<p>和歌山県立医科大学卒業、人の死を防ぎたい思いで法医学に進む。京都大学医学部助手、ハーバード大客員研究員、札幌医科大学教授を経て、2013 年から現職。2014 年より「死因究明学の創造と担い手養成プラン事業」を開始。2014～2019 年には大阪府監察医事務所長を兼務。2019 年より高等司法研究科教授も兼務。医療事故調査制度で日本医療安全調査機構近畿ブロック統括調査支援医も務めている。</p>
	<p>當山 紀子 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC 特任准教授</p>	<p>保健学士(東京大学)、国際保健学修士(東京大学)、保健学博士(東京大学)。看護師として小児科病棟、保健師として保健所、看護技官として厚生労働省母子保健課、国際課、高齢者支援課等に勤務。海外では JICA 専門家として、インドネシアやパレスチナの母子保健活動に従事。沖縄県立看護大学講師、琉球大学講師等を経て現職。</p>
	<p>佐々木 健 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC 特任教授</p>	<p>和歌山県立医科大学医学部卒業後、厚生省に入省。環境庁、九州厚生局、広島県庁、岡山県庁等にて勤務後、厚生労働省健康局新型インフルエンザ対策推進室長、がん・疾病対策課長、医政局地域医療計画課長、医事課長、内閣官房内閣審議官、東海北陸厚生局長等を経て、現職。医事課長時に、死因究明等推進基本法の制定に携わる。</p>
	<p>北川 晋一 大阪大学大学院医学系研究科 iDeaC 特任助教</p>	<p>京都大学医療技術短期大学部看護学科卒業、臨床研究支援や政策研究に携わった後、病院や訪問看護事業所で勤務。大阪大学博士課程で「がん患者の自殺リスク」をテーマに、地域がん登録と人口動態統計の死因情報を用いた疫学研究に取り組む中で、死因究明学の重要性を知り、「次のいのちを守る」という使命に強く共鳴して現職。</p>
	<p>古元 重和 北海道大学大学院医学研究院 医療政策評価学教室 教授</p>	<p>慶應義塾大学医学部卒業、医学博士(慶應義塾大学)。国立病院での臨床研修を経て、厚生労働省に入省。保険局医療課、社会援護局障害保健福祉部精神保健福祉課、環境省、三重県庁、千葉県庁等にて勤務後、内閣官房健康・医療戦略室参事官、医薬・生活衛生局血液対策課長、健康局がん・疾病対策課長、老健局老人保健課長等を経て、現職。</p>
	<p>中島 一敏 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 教授</p>	<p>琉球大学医学部卒業、医学博士(琉球大学)。国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース修了後、感染症疫学センター主任研究官、世界保健機関(WHO)本部医官、東北大学病院検査部講師兼副部長等を経て現職。厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード委員、東京感染症 CDC 専門家ボード委員等にも携わる。</p>
	<p>猪飼 宏 京都府立医科大学附属病院医療情報部 部長/准教授</p>	<p>京都大学医学部卒業、医学博士(京都大学)。京都大学医療経済学分野、山口大学病院医療情報部、京都府立医科大学医学・医療情報管理学講座等を経て現職。主な研究テーマはデータを活用した医療の質の評価と改善、地域医療体制の可視化と予測。日本医療機能評価機構医療の質向上のための体制整備事業、京都府医療審議会計画部会等にも携わる。</p>
	<p>國井 修 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 CEO・専務理事</p>	<p>自治医科大学卒業、公衆衛生学修士(ハーバード公衆衛生大学院)、医学博士(東京大学)。国立国際医療センター、東京大学大学院(専任講師)、外務省経済協力局(課長補佐)、長崎大学熱帯医学研究所(教授)、国連児童基金本部(シニアアドバイザー)、ミャンマー・ソマリア国事務所(保健・栄養・水衛生事業部長)を経て、2013 年より 9 年間、世界エイズ・結核・マラリア対策基金の戦略・投資・効果局長。</p>